

【PDCA】

Ⅱ 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	乳幼児等保健相談事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3,11
事業(細目)名	乳児等保健相談事業	事業番号	1101		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	1	連番

R5年度(4月記入)

Goal(目標)	母子ともに安心して子育てができる環境づくりを構築し、育児仲間の繋がりを図ることができる。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・智頭町で母子ともに安心して健やかに育つことができるように支援をするため乳幼児健診、離乳食講習会、子育て講座などを開催する。 ・赤ちゃん訪問、フォロー対象家庭の訪問、面談や電話相談を随時行う。

R5年度(3月末に実績を記入)

Do(実行)		R5実績額	584,023円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	乳児健診受診率	%	101.8	100	98.3	98%
②	離乳食講習会参加率	%	70.5	70	46.6	99%
③	家庭訪問人数	人	20	25	15	125%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児健診(3~4か月児健診、6~7か月児健診、9~10か月児健診)の実施。 ・母子の健康づくり、育児不安の解消を目的に子育て講座を年2回実施予定。3月末時点、2回実施、参加者11人。 ・3か月に1回(年4回)離乳食講習会を計画したが、参加予定者が少なかったため年4回のうち2回は個別訪問による講習を実施。3月末時点受講率46.6%。各乳児健診で栄養相談を実施。 ・出産した全家庭、フォローの必要な家庭に家庭訪問を実施。3月末時点訪問家庭 15人。 					

R5年度(3月末に記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・健診未受診者には理由を確認している。多くは体調不良や他の用事で、次回健診日に受診している。 ・支援が必要なケースは年々増えており、関係各課・機関と連携しながら対応しているが、有効な支援が実施できないケースも多い。 ・出生数の減少から、乳児健診や離乳食講習会の対象者が激減しており、集団効果が得られにくい。 					

R5年度(3月末に記入)

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由: 支援が必要なケースが増加しており、継続実施する必要ある。				

R5年度(3月末に記入)

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・健診未受診者には理由を確認し、健診の必要性を伝え、受診率100%を目標とする。 ・フォローが必要な家庭には、関係機関と連携して対応方法を検討し、役割分担しながら支援を行う。 ・出生数が減少しているため、乳児健診と幼児健診を同日に実施し、月齢の差はあるが1回開催当たりの対象者を確保し、集団効果が得られるようにする。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	幼児健康診査事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	幼児健康診査事業	事業番号	1845		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	2	連番

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	安心して子育てができる環境づくりを構築し、育児仲間の繋がりを図ることができる。
Plan(事業概要・計画)	智頭町で母子ともに安心して健やかに育つことができるように支援をする。 ・1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診、5歳児発達相談の実施。 ・健診後、フォローが必要なケースは、保育園等関係機関と情報共有しながら、保護者の相談に応じる。

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)		R5実績額	601,258円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	1歳6か月児健診	%	119.2	100	100	84%
②	2歳児歯科健診	%	95.8	100	100	104%
③	3歳児健診	%	108.3	100	100	92%
実施内容	・母子保健法に基づき、1歳6か月児健診と3歳児健診を年4回ずつ実施。未受診者がいた場合は理由を確認。 未受診者は、次回健診日に受診することがほとんどである（次回受診日が翌年度になる場合があり、年度内実施率は100%とならない場合がある）。 ・智頭町は幼児の虫歯罹患率が高いため、歯科保健対策強化の一環として、2歳児歯科健診を実施。歯科健診の他、歯科衛生士・管理栄養士の講話、 歯科指導、フッ化物塗布を実施。					

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・健診だけで普段の状況が十分把握できるわけではなく、健診後にフォローが必要となるケースや就学後に課題が発生するケースもある。適切な支援ができるよう、日頃から関係機関との連携を大切にしている。 ・むし歯予防に関しては、歯科健診を中心に、今後も普及啓発活動を継続・強化する。					

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：法律に基づき、継続実施する必要ある。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	・健診未受診者の保護者に未受診理由を確認、また健診の必要性を伝え、受診率100%を目標とする。 ・関係機関と連携しながら、健診後のフォローを丁寧に行う。 ・虫歯罹患率の低下に向けて、引き続き啓発活動を充実させていく。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	安全安心な学校給食の提供	所属	給食センター	SDG s		
事業（細目）名	学校給食費	事業番号	1215			
総合計画	基本理念	Ⅱ 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	①健康	事業番号	3	連番	37

R5年度

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	<p>1. 食事について正しい理解と習慣を養い学校生活を豊かにし、学校給食を通して明るい社交性を養う。</p> <p>2. 学校給食に使用する食材の点検及び職員の健康チェック（毎日）</p> <p>3. 衛生管理の徹底〔外部業者による所内及び職員の衛生診断と細菌（ノロウイルス、大腸菌等）検査〕</p>

R5年度

Do(実行)		R5実績額	114,397,000円			
活動実績を示す指標		単位	R4(実績)	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	学校給食（小学校）	回	178	185	183	103%
②	学校給食（中学校）	回	170	175	178	105%
実施内容		1食単価を小学校は300円、中学校は340円で運営。				

R5年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		異物混入（微細な昆虫や糸くずが混入）が数件あった他は大きな事故、食中毒等なく、安全で安心な給食が提供できた。今後はより食材チェックに注意を払い、衛生管理を徹底し、安全で安心な給食を提供することが求められる。				

R5年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 給食提供数が減る中で、必要人員数を再検討する必要がある。				

R5年度

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	食材チェックと機器の管理に細心の注意を払い、衛生管理を徹底し、安全で安心な給食を安定して提供する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	安全安心な学校給食の提供	所属	給食センター	SDG s		
事業（細目）名	学校給食費（調理機器更新）	事業番号	1215			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	①健康	事業番号	3	連番	37

R5年度

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	
1. 調理機器の整備（年1回業者に委託） 2. 蒸煮冷却機の更新 3. 調理機器購入から19年を経過することから、日々の点検・確認を厳とし、不具合を生じた機器については随時更新する。	

R5年度

Do(実行)		R5実績額		26,862,000円		
活動実績を示す指標		単位	R4(実績)	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	調理機器の点検（業者委託）	回	1	1	1	100%
②	蒸煮冷却機	台	0	1	1	
③	プレハブ冷蔵庫	台	0	1	1	
実施内容						
年1回調理機器の点検を実施。機器の不調はその都度修繕を行ってきたが、部品調達が困難で修理に時間がかかるプレハブ冷蔵庫の修繕と蒸煮冷却機の更新を行った。						

R5年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E

R5年度

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
----	---

評価理由： 緊急度に応じた優先順位の決定が必要

R5年度

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
調理機器の多くが耐用年数を大幅に超過し、製造中止や製造メーカー不在のため部品供給ができない状況にある。日々の機器点検を厳とし、修繕不能と判断された機器から順次更新を行う。R6年度はプレハブ冷蔵庫の修繕と給食配送車を更新する。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	安全安心な学校給食の提供	所属	給食センター	SDG s	
事業（細目）名	学校給食費（無償化）	事業番号	1215		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	①健康	事業番号	3	連番 37

R5年度

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	1. 町内の小学校、中学校に通う児童・生徒の保護者の経済的負担の軽減を通じた子育て支援 2. R3年度より無償化

R5年度

Do(実行)		R5実績額		20,257,000円		
活動実績を示す指標		単位	R4(実績)	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	児童・生徒の保護者負担分のみ無償	円	19,028,000	21,915,000	20,257,000	106%

R5年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E

R5年度

評価	A
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	A
----	---

評価理由：引き続き、子育て世帯の負担軽減を図るため。

R5年度

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	保護者の経済的負担の軽減を通じ子育て支援を行うため、R6年度も無償化を継続する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	中学校の部活動の充実	所属	教育課	SDGs	4	
事業(細目)名	中学校教育振興事業/事務局費	事業番号	1187			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	7	連番	40

R5年度

Goal(目標)	中学生がよりよい環境で部活動を行えるようにする。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> 部活動指導員・外部指導者を配置し、専門的な技術指導を行う。

R5年度

(単位:円)

Do(実行)	R5実績額	631,001円				
活動実績を示す指標		単位	R4(実績)	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	部活動指導員数	人	1	1	1	100%
②	部活動外部指導者数	人	2	5	5	250%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> 希望がある部活動について、国・県の補助金を活用しながら指導員・外部指導者を配置した。 				

R5年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> 指導員・外部指導者を配置した部活動では教員の時間外労働時間を削減できた。 指導者数をいかに増やすかが課題である。 				

R5年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由: 部活動の地域移行に併せて強化すべき事業である。				

R5年度

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> 部活動の地域移行検討状況を踏まえて配置する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	食育の推進	所属	福祉課	SDGs	3,11
事業（細目）名	健康教育事業	事業番号	1109		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	8	連番

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	食育の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次智頭町食育推進計画の周知と実践。 ・ 学校給食を生きた教材とし、未来を担う子どもたちに正しい食教育を行う。 ・ 栄養教諭等の専門職のいない保育園の園児を対象とした健康教育を月に1回開催する。

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)		R5実績額	81,000円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	第二次智頭町食育推進計画の周知	回	1	1	1	100%
②	学校給食の提供	人	389	362	362	93%
③	食育推進事業の実施	回	12	12	9	100%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ちづ図書館での展示等を通して食育について広く町民に周知を行う。6月の食育月間には保育園、小中学校で啓発チラシを配布する。 ・ 地産地消、郷土料理、行事食などを提供し、給食を生きた教材として子どもたちに食教育を実施。 ・ 保育園の年中児、年長児を対象に、毎月1回ずつ健康な身体と歯をつくる健康教育を実施。 					

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い世代が利用するちづ図書館での展示を通して、町民に広く周知し、自分事として捉えてもらった。（6月） ・ 教育現場で食育を実施することで、子どもだけでなく保護者への啓発にもつながっている。 ・ 保育園や図書館と連携して、食育の日のPR活動や親子を対象とした事業を展開した。 					

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：計画に基づき、周知・啓発・実践できた。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園、学校教育現場等と連携して事業展開を行う。 ・ 優先順位をつけ、限られたマンパワーでも実施可能な事業を展開する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談・家庭訪問の充実	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	健康教育事業	事業番号	1109		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	9	連番

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	生活習慣病の発病予防、重症化予防
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病・高血圧予防教室やOB会「ブルーリボンの会」の実施（7回） ・ウォーキング教室の開催（1回）、各地区健康ウォークの開催（6回） ・食生活改善推進員養成講座の開催（5回）

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)	R5実績額				87,291円	
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	糖尿病・高血圧予防教室、「ブルーリボンの会」の開催	延人	106	100	61	94%
②	ウォーキング教室の開催	延人	207	140	135	68%
③	養成講座の開催	延人	32	50	48	156%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の糖尿病予防教室に高血圧予防を加え、将来的な腎症発症の予防を図ることを目的に、食事・運動・口腔衛生等のテーマで年5回実施する。ブルーリボンの会は栄養と運動の2テーマで年2回実施する。 ・ウォーキング教室は中央での教室の開催と、各地区での健康ウォークを開催する。 ・食生活改善推進員の養成を目的に、日本食生活協会のカリキュラムに沿って実施する。 					

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病予防に高血圧予防を加えたことで参加者が増加。延べ参加人数42人。全回に参加した者には健康にまつわるプレゼントを用意し、インセンティブ効果を図った。 ・養成講座については、計画どおり実施することができており、9名の新入会員が入会。 					

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 効果検証等を行い、教室の内容を随時見直しながら実施できている。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病・高血圧予防教室はハイリスクアプローチとして実施し、全町民を対象としたポピュレーションアプローチとして生活習慣病予防教室（運動、調理実習、歯科衛生について等）を実施する。 ・食生活改善推進員と連携し、町の教室や伝達講習会を充実させる。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談・家庭訪問の充実	所属	福祉課	SDG s	3,11	
事業（細目）名	健康相談事業	事業番号	1108			
総合計画	基本理念	Ⅱ 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	9	連番	42

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	町民の健康づくりを支援する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・電話、来所、集会などの場での健康相談（随時） ・肝炎ウイルス検査での陽性者への定期検査の受診勧奨と状態把握。

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)	R5実績額	12,924				
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	電話相談	件	52	30	17	58%
②	来所相談	件	22	10	8	45%
③	肝炎ウイルス陽性者定期検査受診勧奨	件	48	47	43	98%
実施内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・電話相談、来所相談（随時） ・ひまわり会や老人クラブなどでの相談（随時） ・肝炎ウイルス検査陽性者（43名）への受診勧奨通知。 						

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<ul style="list-style-type: none"> ・食事のことや健診のことなど多岐に渡る。 						

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 様々な相談に応じている。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・個々の相談をしっかりと対応していきたい。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談・家庭訪問の充実	所属	福祉課	SDGs	3,11
事業（細目）名	健康診査事業	事業番号	1110		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	9	連番

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	主に生活習慣病の発病予防、早期発見、重症化予防を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 40歳以上の国保加入者に対し特定健診、一定年齢以上の町民に対しがん検診を実施。 ・ 40歳～69歳の町民に対し人間ドックを実施。 ・ 40歳～59歳の町民に対し脳ドックを実施。

R5年度（3月末に記入）

Do(実行)	R5実績額	37,764,594円				
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	肺がん検診受診率	%	34.6	35.0	34.6	101%
②	胃がん検診受診率	%	28.6	29.0	30.3	101%
③	肝炎ウイルス検査受診者数	人	2.8	2.5	3.5	89%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 受ける機会を持ちやすいように、医療機関での個別健診と集団でのセット健診を実施。 ・ いづれの健診も無料で受けることができる。（人間ドックと脳ドックは個人負担あり） ・ 対象者を絞って未受診者勧奨通知を発送。 				

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 検診全体で受診率がR4年度より向上している。 ・ 智頭病院での受診ができなくなった影響か、R4に引き続き、子宮がん検診の受診者数が減少している。 				

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： コロナ以降受診率の向上が難しい。また智頭病院の体制(婦人科の閉鎖)の影響も大きい。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 進行癌での発見にならないように受診勧奨をしていく。 ・ 未受診者勧奨は毎年しているが、さらにしっかりと個別での受診勧奨をしていく。 ・ 個々の状況のみて、もっと受けやすい受診体制を検討していく。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	特定健診・がん検診・各種健康教室・健康相談・家庭訪問の充実	所属	福祉課	SDG s	3,11	
事業（細目）名	訪問指導事業	事業番号	1114			
総合計画	基本理念	Ⅱ 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	9	連番	42

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	町民の健康づくりを支援する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事指導や特定保健指導勧奨のため訪問（随時） ・ 健診事後フォローのための訪問（随時） ・ がん検診の精密検査受診勧奨のための訪問（随時）

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)	R5実績額	175,044				
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	食事指導や特定保健指導勧奨、健診事後フォローのため訪問	件	269	250	233	93%
②	がん検診の精密検査受診勧奨のための訪問	件	68	70	84	103%
③		件				
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診の結果により、訪問して個々にあった食事指導を行う。（随時） ・ 特定健診を受けた後のフォローや、特定保健指導が必要と診断された人への利用勧奨のための訪問（随時） ・ 各がん検診の結果、精密検査となった人に訪問して、説明、受診勧奨を行う（随時） 					

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問して説明することで、必要性などの自覚を促すことが出来ている。 					

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 個にあった指導を訪問することで実施することが出来ている。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問することで強く自覚を促すことが出来るので、必要に応じて実施。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	介護予防事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3、11
事業（細目）名	重層的支援体制整備事業(介護・地域介護予防活動支援事業)	事業番号	2105		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	10	連番

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	地域における介護予防活動の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防活動の地域展開を支援。 ・フレイル予防のための教室開催支援。 ・森のミニデイ、集落ミニデイの実施（委託）。

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)		R5実績額	11,150,271円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	いきいき脳元気教室参加延人数	人	1,668	1,768	1,813	106%
②	森のミニデイ実施箇所	箇所	6	6	6	100%
③	集落ミニデイ実施箇所	箇所	36	35	35	97%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の通いの場（森のミニデイ・集落ミニデイ）の運営を地区振興協議会や社会福祉協議会に委託。 ・いきいき脳元気教室の開催支援。 					

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週通って、気の合う仲間と顔を見合わせながら話ができる場があることを喜んでの方が多く存在している。 ・脳元気教室の宿題を毎日することが日課となり定着化し、住民のフレイル予防に大いに貢献していると考える。 ・フレイル予防に資するボランティアの育成及び活動が必要。 					

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 参加者にとって楽しみの場となりフレイル予防となっている。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき脳元気教室は、週に2クラス設け、それぞれ20数名ずつ参加している。令和5年度脳元気教室参加者の卒業生も10名参加。 ・より智頭町らしいフレイル予防活動の地域展開を進めるため、関係機関・地域住民とともに検討を行う。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	介護予防事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3、11	
事業（細目）名	介護予防普及啓発事業	事業番号	2038			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	10	連番	43

R5年度（3月記入）

Goal(目標)	介護予防の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の一環として、認知症予防のため脳の健康教室を実施。 ・3ヶ月間のフレイル予防教室を実施。

R5年度（3月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R5実績額					1,797,995
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	脳の健康教室参加実人数	人	11	12	12	109%
②	フレイル予防教室参加者実人数	人	20	18	18	90%
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・くもん式脳の健康教室を9/5～12/26までの1クール（4ヶ月間）実施。 ・フレイル予防教室(1クール3ヶ月)をJa-んぐるに委託し実施。65歳～75歳の人へ個別通知をし、3ヶ月間のプログラムに取り組み、運動機能の改善・向上・維持を図った。この教室終了後は、13人が各地区で展開している体操教室へと繋がった。 				

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の満足度は毎回あるが、60代の参加者は、内容が簡単過ぎるため物足りなさもある。対象者の選定などを改める必要がある。 ・フレイル予防教室の参加者からは好評であるが、参加者募集のために課題があり周知方法の工夫が必要である。 				

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：フレイル予防の取組として満足度は高い。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・脳の健康教室もフレイル予防教室の参加者も広く個別通知するだけでは反応が乏しいため、募集方法や周知の仕方がある程度絞り開催時間帯等も再検討し企画する必要がある。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	介護予防事業の推進	所属	福祉課	SDG s	3、11	
事業（細目）名	地域リハビリテーション活動支援事業	事業番号	2040			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	10	連番	43

R5年度（3月記入）

Goal(目標)	介護予防の推進
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で定期的に元気にすてっぶフォロー教室を開催 ・いきいき百歳体操の普及啓発 ・住民及びサービス事業所への理学療法士による助言・指導

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)		R5実績額	3,313,772円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	元気にすてっぶフォロー教室参加延人数	人	3,451	3,637	3,637	105%
②	いきいき百歳体操実施箇所数	箇所	20	20	21	100%
③	住民及びサービス事業所への助言・指導延件数	件	1	12	10	1200%
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で元気にすてっぶフォロー教室を開催（月2～4回）。 ・いきいき百歳体操実施グループに対し、理学療法士が半年に1回定期指導を実施。 ・住民及びサービス事業所に対し、理学療法士からの助言・指導を実施。（5事業所/6事業所×2回） 					

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・元気にすてっぶフォロー体操教室は、智頭区の参加者が増え活気に満ちあふれている。各地区公民館等で開催しているクラスでは若干増えている箇所もあるが、参加者の増えはみられない。会員増に向けた取組が必要である。 ・理学療法士によるいきいき百歳体操や事業所指導等は、再開となり直接的な指導の介入が出来ている。 					

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：専門職の指導等により、住民、事業所のスキルアップに繋がっている。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館での元気にすてっぶフォロー教室の会員を増やすため、各団体等とも連携し募集方法等の検討を図る。 ・「通いの場」こそがフレイル予防のパッケージであり、体操も1人で行うより集団で行ったほうがより効果的であるということを各集落等で発信し、いきいき百歳体操や元気にすてっぶフォロー教室の参加者の推進を図る。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	介護給付費の適正化事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3, 11	
事業（細目）名	介護給付費の適正化事業の推進	事業番号	1893			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	11	連番	44

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	介護給付費の適正化
Plan(事業概要・計画)	保険者から受給者本人（家族含む）に対して、事業者からの介護報酬の請求及び費用の給付状況等について通知することにより、受給者や事業者に対して適切なサービス利用を普及啓発するとともに、自ら受けているサービスを確認し、適正な請求に向けた抑止効果を上げる。（年に2回送付。通知対象者は介護サービス受給者から国保連合会が抽出。）

R5年度（3月末に実績見込を記入）

Do(実行)	R5実績見込額	107,000円				
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	介護給付費通知対象者（手数料21.5円/件）	件	982	1018	1019	104%
②		件				#DIV/0!
③		件				#DIV/0!
実施内容		・受給者本人（又は家族）に対して、サービスの請求状況及び費用等について通知を送付。（6月、12月）				

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		介護給付費通知は、発送時の手間が膨大であるが、発送後給付に関する問合せが一定数あるため、効果はあると推測する。				

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：介護給付の適正化のため、国の指針にも基づく必要な事業である。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
・通知内容や発送回数及び時期を確定させ、作業効率を高める方法を構築するよう検討を進める。 ・受給者へ確実に周知されるよう、効果を高める方策を検討する。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康づくりを目指した健康ちづ2 1の推進	所属	福祉課	SDGs	3,11
事業(細目)名	健康教育事業	事業番号	1109		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	12	連番

R5年度(4月記入)

Goal(目標)	正しい知識を普及啓発し、生活習慣病の発病予防、重症化予防を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブやミニデイなどでの講話(随時) ・町保健衛生委員会の開催 ・中学校で思春期教室の開催

R5年度(3月末に実績を記入)

Do(実行)	R5実績額	381,573円																								
活動実績を示す指標																										
①	老人クラブ等での健康教育	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>単位</th> <th>R4</th> <th>R5(計画)</th> <th>R5(実績)</th> <th>対前年比(%)</th> </tr> <tr> <td>延人</td> <td>93</td> <td>100</td> <td>119</td> <td>108%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td> <td>保健衛生委員会の開催</td> <td>回</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>#DIV/0!</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">③</td> <td>思春期教室の開催</td> <td>延人</td> <td>0</td> <td>100</td> <td>105</td> <td>#DIV/0!</td> </tr> </table>	単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)	延人	93	100	119	108%	②	保健衛生委員会の開催	回	0	1	1	#DIV/0!	③	思春期教室の開催	延人	0	100	105	#DIV/0!
単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)																						
延人	93	100	119	108%																						
②	保健衛生委員会の開催	回	0	1	1	#DIV/0!																				
③	思春期教室の開催	延人	0	100	105	#DIV/0!																				
実施内容																										
<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブやミニデイなどでの講話 ・中学校で思春期教室の開催 ・保健衛生委員会の開催 																										

R5年度(3月末に記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<ul style="list-style-type: none"> ・11/30に保健衛生委員研修会を開催(参加人数:21人)。 ・老人クラブでの健康教室は随時実施。男の料理教室12/14に実施予定。 ・中学生を対象に、メディアや心の健康について健康教育を実施(7/18.19 延65人、1/29 40人)。 						

R5年度(3月末に記入)

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由: 関係各者と連携しながら事業展開できている。				

R5年度(3月末に記入)

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブやミニデイ、サロン等での健康教室は随時実施。 ・思春期教室は養護教諭等と連携しながら実施。テーマや内容は必要に応じて見直ししながら実施する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康に対する意識の高揚を図るための啓発推進	所属	福祉課	SDG s	3,11	
事業（細目）名	健康相談事業	事業番号	1108			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	13	連番	46

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	正しい知識を普及啓発し、生活習慣病の発病予防、重症化予防を目指す。
Plan(事業概要・計画)	<p>広報誌、告知端末、ホームページなどの様々な媒体を活用した啓発。（随時）</p>

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)	R5実績額	15,972				
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	集団健診広報誌掲載回数	回	8	9	6	113%
②	その他健康に関すること	回	13	23	30	177%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ほのぼののそよかぜ通りにおけるポスター掲示やパンフレットの配布。 ・広報や告知端末を利用しての情報啓発。 					

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ほのぼののそよかぜ通りにおけるポスター掲示やパンフレットの配布を行った。 ・広報や告知端末を利用しての情報啓発（随時）。 					

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 広報等の情報媒体を使用し、出来る限りの啓発に務めていた。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に関する情報を積極的に行う。 ・告知端末や広報以外の高齢者への啓発方法をさらに検討。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康増進のためのセラピーロードの活用	所属	山村再生課	SDG s	12,15
事業（細目）名	森林セラピー事業	事業番号	1896		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	14	連番

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	森林セラピーの普及啓発及びプランの実施検証。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・森のガイド養成講座・ガイドフォローアップ講座を開催する。 ・町福祉課や各地区振興協議会等と連携し、森林セラピーの利用を推進する。

R5年度（3月末に記入）

Do(実行)		R5実績額	2,303,475円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	森のガイド養成講座・ガイドフォローアップ講座開催	回	14	12	12	86%
②	町民セラピーデー開催	回	2	2	5	250%
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会生涯学習講座と連携し、歴史の道×ポール・ウォークイベントを開催。 ・町福祉課と連携して健康ポイント事業を実施。 ・町民の森林セラピーガイド料を無料とし、利用を促進。 ・土師地区振興協議会、山郷地区振興協議会と連携し、地区セラピーロード活用促進イベントを開催。 				

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・4月に認定した13期生ガイドのデビューについて個別にフォローを続けたが、本業が森林セラピー活動時期と重なる者（林業、農業事業者、協力隊等）のガイドデビュー見込みが立っていない。 ・R5年度は各地区振興協議会と協議を重ね、計画通りにイベントが実施できた。 				

R5年度（3月末に記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 町民に限定せず、地区セラピーロードを活用したイベントを夏・秋に実施できた				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・実際にガイドデビューに結びつきやすい近隣市町へ営業を行い、森のガイド養成講座を開催する。 ・地区セラピーロードのPRを実施し、地元町民の利用を促進する。 ・各課、各地区振興協議会と連携して、事業実施を継続する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	看護師確保対策の強化	所属	智頭病院	SDG s		
事業（細目）名	看護師奨学金制度	事業番号				
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	15	連番	48

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	奨学金活用者の看護師免許取得や入職に結びつける。
Plan(事業概要・計画)	看護学校等在学者への新規奨学金利用の呼びかけ。

R5年度（3月末に記入）

Do(実行)	R5実績額				
活動実績を示す指標	単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
① 新規奨学金受給者	人	0	3	0	#DIV/0!
② 継続奨学金受給者	人	1	2	0	0%
③ 智頭病院就業者	人	1	1	0	0%
実施内容	看護師養成機関に対しパンフレットを配布。 高等学校訪問による制度紹介。				

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	既就業者が看護師資格を取得するなどの成果が出ている。 学生の新規受給の申し込みがない状況である。					

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由： 資格取得や新規入職に寄与している。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
看護学校在学生への奨学金利用の呼びかけと、東部の高等学校への奨学金制度のPRにより新規利用を募る。 看護学校在学生へのPRのため、採用募集要項の配布とともに奨学金制度の紹介を行う。 エリアを広げて、岡山県、兵庫県の看護学校にも制度紹介を行う。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	医療設備・機器の整備	所属	智頭病院	SDG s		
事業（細目）名			事業番号			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	16	連番	49

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	医療設備・機器の計画的な整備・更新
Plan(事業概要・計画)	健診システム更新、F P D装置システム更新（放射線科画像装置）、生化学分析装置 眼科手術用顕微鏡システム等

R5年度（3月末に記入）

Do(実行)	R5実績額	95,463千円				
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	器械備品減価償却率	%	78	78	78	100%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	健診システム更新、F P D装置システム更新（放射線科画像装置）、生化学分析装置 眼科手術用顕微鏡システム等					

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	順次機器の更新を行うことが出来ている。					

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 必要な機器の整備と更新を行うことが出来た。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
	診療に必要な機器の整備を計画的に行うことができています。 施設の老朽化に対する対応を計画的に実施する必要がある。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	医師確保対策の強化	所属	智頭病院	SDG s		
事業（細目）名			事業番号			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	17	連番	50

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	病院事業継続のため医師確保を図る。
Plan(事業概要・計画)	鳥取県・鳥取大学、その他関係機関への医師派遣要請 院内保育所の整備、医師住宅の確保 研修医、実習生への広報

R5年度（3月末に記入）

Do(実行)	R5実績額	521,150千円				
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	研修医の受入	人	5	3	5	100%
②	学生の受入	人	0	1	3	#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	研修医の受入時に智頭病院と智頭町での取組等をPRすることが出来た。					

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	県派遣医師については、一定数を確保することは出来ている。 年度途中で医師の減員が生じた場合の確保策が必要。					

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：さらなる働きかけが必要。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
中堅医師確保のための取組として、基幹病院との連携を模索。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	情報インフラの更新	所属	企画課	SDG s	9
事業（細目）名	地域情報化推進事業	事業番号	1879		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	3	連番

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	地域間の情報格差是正のため整備した光通信網の維持活用
Plan(事業概要・計画)	<p>○光通信網の維持管理、安定したサービス提供の実施。</p> <p>○新IP告知端末を活用した新たな住民サービスの提供。</p> <p>（地域の住民が日常的に使用することができる利便性の高いサービスの提供。）</p>

R5年度（年度末に実績を記入）

Do(実行)	R5実績額	91,403,160円				
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	光通信網の維持管理、安定したサービス提供の実施	件数	2,372	2,372	2,336	98%
②	新IP告知端末を活用した新たなサービスの提供	件数	2	1	0	0%
③	新IP告知端末操作にかかる相談会の開催	件数	12	24	24	200%
実施内容		<p>○新IP告知端末の安定的なサービスの提供並びに新サービスの整備（買い物代行サービス準備）</p> <p>○工事分担金の一部補助・減免による利用者の負担軽減。</p> <p>○新IP告知端末の操作方法・困りごと等に関する相談会の実施。</p>				

R5年度（年度末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<p>○新IP告知端末の利用に関する相談受付や個別相談案件に応じた現場作業の実施によるサービスの安定化に務めている。高齢者のデジタルディバイド対策として、引き続き相談会の実施や利用促進に向けた広報活動等が必要。</p> <p>○新サービスの提供に向けた準備のほか、関係者との連携が必要。（買い物代行等）</p>				

R5年度（年度末に記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	<p>評価理由： 本町のDXの核となるIP告知端末の充実をより一層図ることが重要。その中でHGWなどの計画的更新も具体的に進めていくことが必要。</p>				

R5年度（年度末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<p>○トスク閉店に伴う交通弱者（高齢者）の買い物環境整備に向け、現在準備中のサービス（買い物代行）の早期リリースを図る。買い物代行サービスについては事業者と今後の方向性等について再度検討を要する。また、安定したサービスの提供はもとより地元企業との連携などを検討し、地域経済の活性化・住民生活の利便性向上を図る。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地方特定道路整備及び急傾斜地崩壊対策事業	所属	地域整備課	SDG s	9	
事業(細目)名	社会資本整備総合交付金	事業番号	1336			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	②環境整備	事業番号	5	連番	54

R5年度 (4月記入)

Goal(目標)	計画的な町道の改良整備
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町道を整備し、住民の生活環境の向上、通学通勤時の安全確保、利便性の向上を図る。 ・ 町道除雪を委託し、冬期における住民の安全を確保する。

R5年度 (3月末に実績を記入)

Do(実行)					R5実績額	108,898,561
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	施工路線数	本	6	5	2	33%
②	除雪委託費	千円	20,918	9,000	6,130	29%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 下向線の測量設計業務を実施。 ・ 市瀬新道線の道路改良工事を実施。 ・ 下向線の用地補償及び移転補償の実施。 				

R5年度 (3月末に記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の事業実施の参考のため、候補となる路線をリストアップする必要がある。 ・ 社会資本整備総合交付金事業(P20)市瀬新道線に関しては事業が完了。 				

R5年度 (3月末に記入)

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由: 生活環境の改善、利用者の安全確保に繋がる。				

R5年度 (3月末に記入)

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
<p>R5年度はR4年度に着手した路線をの道路改良を継続して行った。R6年度も継続となる路線のみだが道路台帳現地調査業務で得た成果などを基に、今後改良が必要と思われる路線の洗い出しが急務である。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	地方特定道路整備及び急傾斜地崩壊対策事業	所属	地域整備課	SDG s	9	
事業(細目)名	地方創生整備推進交付金事業	事業番号				
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	②環境整備	事業番号	5	連番	54

R5年度(4月記入)

Goal(目標)	
Plan(事業概要・計画)	町道奥本河津原線の道路改良、拡幅工事。

R5年度(3月末に実績を記入)

Do(実行)	R5実績額		10,336,055			
	活動実績を示す指標	単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	道路改良、拡幅工事	路線	2	1	1	50%
②						
③						
実施内容	町道奥本河津原線の道路改良工事を実施。					

R5年度(3月末に記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	現在の地域再生計画が令和6年度までの計画であり、R7年度まで延伸予定。					

R5年度(3月末に記入)

評価	A		方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価							
評価	A	評価理由： 基幹林道へのアクセス向上と町道の利便性向上が図れた。					

R5年度(3月末に記入)

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
本事業の実施には、接続する林道の整備を同一計画の中で県が行うことと、計画の整備が必要となってくることから、様々な調整が必要となる。	
R6年度については、継続して奥本河津原線の改良を行う。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町道及び橋梁の計画的な整備と長寿命化計画	所属	地域整備課	SDG s	9
事業（細目）名	道路維持事業	事業番号	1170		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	②環境整備	事業番号	6	連番

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	町道の適切な維持管理を行い、住民の安全確保を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町道の維持管理を行い、住民生活の利便向上と安全確保を図る。 ・ 除草等の町道維持を行う集落・団体に交付金を交付する。

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)	R5実績額		14,431,965			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	修繕料・工事請負費	千円	11,243	14,458	14,432	128%
②	道路愛護	件	11	15	9	82%
③						
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 町道穂見支線防護柵設置工事、町道山田線舗装修繕 外 ・ 町道下向線舗装修繕、町道栃本線舗装修繕 外 ・ 道路等愛護事業 9集落申請 ・ 道路台帳現地調査業務 				

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 維持修繕により、損傷箇所や危険箇所の解消。 ・ 軽微な損傷等については、職員による直営修繕を実施。 ・ 道路台帳現地調査業務により、町道や町道沿線状況の変化が把握でき、台帳修正要否の判断材料となった。 				

R5年度（3月末に記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 利用者の利便性向上と安全確保に寄与している				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<p>住民生活の利便性向上と安全確保のため、引き続き同様の維持管理を行っていく考えであるが、度重なる自然災害や集落の高齢化などから地域からの要望も多様化してきており、その対応に苦慮しているところである。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町道及び橋梁の計画的な整備と長寿命化計画	所属	地域整備課	SDGs	9	
事業(細目)名	緊急自然災害防止対策事業	事業番号	2103			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	②環境整備	事業番号	6	連番	55

R5年度(4月記入)

Goal(目標)	5箇年加速化対策事業と同一路線または接続路線において舗装修繕を実施することで対象エリア、路線の事業効果の増進を期待する。				
Plan(事業概要・計画)	町道舗装の点検を実施し、点検結果に基づき対象となる路線の舗装修繕を行う。(切削オーバーレイ等) 町道久志谷三田線、町道久志谷線、町道岩神段線、町道早瀬真鹿野線、町道毛谷大内線				

R5年度(3月末に実績を記入)

Do(実行)	R5実績額			24,846,300		
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	施工路線数	路線数	0	5	4	#DIV/0!
②						
③						
実施内容	町道久志谷三田線、町道久志谷線、町道岩神段線、町道源平線の舗装修繕工事を実施。					

R5年度(3月末に記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	1路線について、工事の実施を見送った。路線の選定においては、熟慮する必要がある。					

R5年度(3月末に記入)

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由： 利用者の利便性向上と安全確保。生活環境の改善が図れた。				

R5年度(3月末に記入)

Action(改善)	
R4実施内容の改善及び見直しの上、R5の方針・計画	
事業実施には対象路線に限られるなど条件がつくが、町道整備(大規模舗装修繕)には欠かせない事業であることから、対策が必要な路線を洗い出し、計画的な整備を継続する。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町道及び橋梁の計画的な整備と長寿命化計画	所属	地域整備課	SDG s	9	
事業(細目)名	道路メンテナンス補助事業	事業番号	2094			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	②環境整備	事業番号	6	連番	55

R5年度(4月記入)

Goal(目標)	町道橋梁の計画的な点検・補修による長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	町道橋梁の計画的な法定点検(5年に1回)を実施し、適切な橋梁補修を行う。 定期点検結果を踏まえた長寿命化計画の策定・更新。

R5年度(3月末に実績を記入)

Do(実行)		R5実績額		174,053,732		
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	橋梁修繕工事	橋	3	3	2	67%
②	橋梁長寿命化修繕計画策定	式	1	0	0	0%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・野々谷橋、新市瀬橋について修繕工事を実施。 ・新見橋、天狗谷橋、大井谷橋の修繕工事設計業務委託を実施。 					

R5年度(3月末に記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・積算を行った際、概算額を大きく上回る場合がある為、予算計上の時点・工事発注見込みの時点においては熟慮する必要がある。 ・事業が進み、修繕未対応の健全度IIIと判定された橋梁が減ってきている。 					

R5年度(3月末に記入)

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 事業費の見込みが困難で、計画どおりとならない。				

R5年度(3月末に記入)

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	健全度IIIについては概ね対応済みとなってきた。 診断結果(健全度)による修繕となるが、健全度IIの橋りょうについては予算確保が難しい状況となっているため、戦略的な修繕計画が必要となっている。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ふるさと整備土木事業	所属	地域整備課	SDG s	9	
事業(細目)名	ふるさと整備土木事業	事業番号	1778			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	②環境整備	事業番号	7	連番	56

R5年度(4月記入)

Goal(目標)	集落の生活環境の向上・維持
Plan(事業概要・計画)	・集落の生活環境の向上・維持するため、地元管理の道路及び水路等について整備・改良を行う。

R5年度(3月末に実績を記入)

Do(実行)		R5実績額	11,654,800			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	ふるさと整備土木事業 実施件数	件	7	6	7	100%
②	むらづくり基盤整備土木事業 実施件数	件	-	10	8	-
③						
実施内容	ふるさと：申請件数17件 採択件数7件 むらづくり：申請件数8件(うち台風7号関係が2件) 採択件数8件					

R5年度(3月末に記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	予算の範囲内で採択集落を決定。工事の性質等を考慮し、農繁期等を避けるなど、発注のタイミングを考慮した。					

R5年度(3月末に記入)

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価	A	評価理由：住民に寄り添い事業の目的を達成している。				

R5年度(3月末に記入)

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
ふるさと整備土木事業に類似するものの、採択要件にそぐわない要望が多くなってきていることから、新規事業として、むらづくり基盤整備事業を整備し、住民の生活環境の更なる改善を図った。また、災害にあげることが出来ない小規模被災において、新規事業を活用した集落も見られた。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	老朽管施設更新事業	所属	税務住民課	SDG s	6	
事業（細目）名	修繕料	事業番号				
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	②環境整備	事業番号	11	連番	58

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	老朽管の更新を行い、長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> 施設更新計画を基礎として、継続的、計画的な管路の更新をおこなう。

R5年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R5実績	1,200,000円				
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	県道津山智頭八東線改良工事に伴う上水道管移設	千円	0	11,000	12,000	#DIV/0!
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 配水本管の修繕工事を実施。 					

R5年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 一部老朽管の長寿命化を図った。 					

R5年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：老朽管の長寿命化を行ったため。				

R5年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に施設更新計画（短期10年）の見直しを行い、令和6年度から計画に沿って更新事業を実施していく。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	老朽化施設更新事業	所属	税務住民課	SDG s	6	
事業（細目）名	改良費	事業番号				
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	②環境整備	事業番号	12	連番	59

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	老朽化施設の更新を行い、長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> 施設更新計画を基礎として、継続的、計画的な施設の更新をおこなう。

R5年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R5実績	828,300円				
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	上水道沖台水源地1号ろ過ポンプ交換	千円	0	0	828	-
②		千円				
③						
実施内容						

R5年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に施設更新計画（短期10年）の見直しを行ったため、その計画に沿って更新事業を実施する。 				

R5年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：老朽施設の更新を行ったため。				

R5年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に施設更新計画（短期10年）の見直しを行い、令和6年度から計画に沿って更新事業を実施していく。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	国・県・町の連携による通学路等の整備検討	所属	教育課	SDGs	11
事業（細目）名				事業番号	1183
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	学び	事業番号	13	連番

R5年度

Goal(目標)	児童生徒が安全に通学できるよう、通学路等の整備検討を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校とPTAが協力をし、通学路の安全点検を行う。 ・点検結果に基づき、危険個所の把握及び合同点検を行う。 ・整備個所を検討する。

R5年度

Do(実行)		R5実績額	0円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	合同点検日数	日	1	1	1	100%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みを活用し、関係機関で合同点検を行った。 				

R5年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						

R5年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：校長園長会や交流事業等により、保小中のスムーズな接続ができた。				

R5年度

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
<p>小中学校及び保護者等の意見をとりまとめ、総務課が実施する交通対策会議と連携し、児童の登下校の安全確保に努める。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	公共交通機関の利用促進	所属	企画課	SDG s	11
事業（細目）名	交通政策事務費	事業番号	1636		
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	16	連番

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	市民が利用しやすい公共交通を検討し、公共交通の利用促進に繋げる。
Plan(事業概要・計画)	<p>○公共交通の利用促進に向けたPR活動の実施（従来活動の見直し含む）</p> <p>○広域連携事業の課題・問題点を抽出</p> <p>○ローカル線（因美線）存続に向けた関係自治体との課題抽出・意見交換・協議</p>

R5年度（年度末に実績見込を記入）

Do(実行)		R5実績額	217,000円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績見込)	対前年比(%)
①	各種協議会への負担金支払い・協議会参加	団体	5	5	5	100%
②	連携中枢都市圏広域連携事業への参加	事業	7	6	6	86%
③	ローカル線存続に向けた関係自治体協議	回	2	4	3	150%
実施内容		<p>○各協議会への負担金を通じて、公共交通利用促進に向けた広報・普及活動を実施</p> <p>○連携中枢都市圏における広域連携事業の計画等を審議（公共交通分野）</p> <p>○ローカル線（因美線）存続に向けた利用促進施策の検討・協議の実施</p>				

R5年度（年度末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<p>○沿線市町が連携して公共交通利用促進に向けた啓発資料を配布するなどの広報・普及活動により、幅広い世代に公共交通への関心を高められたほか、「公共交通乗ってeco!県民運動」、小学生を対象にした夏休み利用促進キャンペーン活動のほか、「JRローカル線スタンプラリー」や地域の魅力をプロモーションする「フォトコンテスト」の実施など新たな利用促進活動を展開している。また、各種公共交通における現状の課題を共有し、今後の取り組みについて意見を交わすことができた。</p> <p>○ローカル線存続に向けた動きとして、智頭・津山の両自治体で観光をコンテンツにした利用促進施策を検討しているが、現時点では実施主体の発足や実施内容について継続して協議する必要がある。</p>				

R5年度（年度末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 因美線、智頭線の利用者増加のための取り組みをより具体的に検討していく必要がある。				

R5年度（年度末に記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	<p>○公共交通を取り巻く環境は厳しさを増していく中で、交通体制の維持・確保は喫緊の課題となっている。既存交通の在り方の検討・利用促進に向けた動きを加速させるなど、関係団体・自治体と連携してより良い公共交通体制の構築並びにサービスの充実を図っていくための課題共有・効果検証を進めて行く必要がある。</p> <p>○ローカル線存続については、近隣の芸術線が再構築協議会の設置を要請されており、因美線についても同様の可能性もあることから、沿線自治体との連携による事業実施主体の立ち上げや観光施策を中止とした旅行商品を打ち出しによる利用促進活動を周知する必要がある。</p>

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	除雪事業	所属	地域整備課	SDG s	9
事業(細目)名	除雪事業	事業番号	1295		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	②環境整備	事業番号	17	連番 63

R5年度(4月記入)

Goal(目標)	冬期交通の確保を目的に、町道等の除雪を行う。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除雪計画に基づき、冬期積雪時の生活道路の除雪を行い、地域住民の安全安心に寄与する。 ・ 小型除雪機無償貸与を通じて、コミュニティ除雪の自助除雪力向上を図る。

R5年度(3月末に記入)

Do(実行)	R5実績額					20,743,605円
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	除雪委託料	千円	20,917	8,090	7,534	36%
②	除雪機械運転手育成支援金	人	8	6	2	25%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除雪計画の策定(町道74路線、林道3路線、農道3路線、その他2路線、県道応援除雪2路線、7施設) ・ 除雪期間12月1日～3月20日まで ・ 集落等へ小型除雪機貸与事業(10集落) ・ 運転手育成支援事業(2業者、2名) 					

R5年度(3月末に記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内建設業者による委託除雪を実施し、交通の確保ができた。 ・ 運転手育成支援事業において2名の申請があり、除雪作業の担い手育成が図ることが出来た。 ・ 小型除雪機貸与事業において28集落の申請に対し10集落へ貸与を行い、コミュニティ除雪の促進を図った。 					

R5年度(3月末に記入)

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 気候の状況により変動はあるが、人材育成や住民自治力の向上に寄与している				

R5年度(3月末に記入)

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
これまで集落の反対により町除雪を行っていなかったエリアでも、地域の高齢化や不在空き家・店舗等の増加から、公共除雪を望む声が大きくなりつつあることから、小型歩道除雪機の無償貸与など、引き続き共助除雪の支援を行っていく。	

第7次総合計画進行管理検証シート【R5年度実績検証用】

事業名	鳥取県東部広域行政管理組合による消防・救急体制の維持・充実	所属	総務課	SDG s	9	
事業（細目）名	常備消防費	事業番号	1178			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	②環境整備	事業番号	23	連番	64

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	鳥取県東部広域行政管理組合による消防・救急体制を維持する。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・消防・救急体制を充実させる。（東部広域行政管理組合への負担金支払い）

R5年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R5実績額	126,292,000			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①						#DIV/0!
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・東部広域行政管理組合事業のため、未記載とする。 					

R5年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・東部広域行政管理組合への負担金支払いを行った。 					

R5年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：東部広域行政管理組合へ遅滞なく負担金を支払った。				

R5年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・東部広域行政管理組合の方針による。 	

第7次総合計画進行管理検証シート【R5年度実績検証用】

事業名	災害対策体制の確立	所属	総務課	SDG s		
事業（細目）名	防災費	事業番号	1181			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	②環境整備	事業番号	24	連番	65

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	災害による死傷者を発生させない
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> 国土強靱化地域計画の個別業務計画改訂

R5年度（年度末実績を記入）

Do(実行)		R5実績額	550,000円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①						#DIV/0!
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 国土強靱化地域計画の個別業務計画改訂（1月末完了） web版ハザードマップ運用 					

R5年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 国土強靱化地域計画の個別業務計画改訂（1月末完了） 					

R5年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 国土強靱化地域計画の個別業務計画改訂が完了できた。				

R5年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> 県のデータ更新に応じてマップの更新を行う。 支え愛マップづくりとからめ、防災マップの活用に注力する。 国土強靱化個別事業の見直しにより、全庁的に国土強靱化への取組を共有する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	高齢者や一人暮らし家庭などの安全安心につながる見守り事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3	
事業(細目)名	日常生活用具給付事業	事業番号	1308			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	環境整備	事業番号	25	連番	66

R5年度(4月記入)

Goal(目標)	独居の高齢者が安全・安心に暮らせるようにする。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活用具(電磁調理器等)購入費の給付

R5年度(3月末に実績見込を記入)

Do(実行)	R5実績額	0円				
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	電磁調理器購入費給付数	件	0	1	0	#DIV/0!
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 必要な世帯等への事業の説明等 					

R5年度(3月末に記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 電磁調理器や火災報知器等の購入について、補助事業に関する相談等はあるが、給付に至っていない。高齢者の安全な在宅生活のため、今後も継続して必要な事業である。 					

R5年度(3月末に記入)

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価	C	評価理由：独居高齢者の安全な生活のため必要な事業であるが、啓発方法等の検討が必要				

R5年度(3月末に記入)

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> 啓発方法等について、再度検討する。 給付対象となる品目の見直し等、引き続き、検討する。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	高齢者や一人暮らし家庭などの安全安心につながる見守り事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3
事業(細目)名	高齢者等居住環境整備助成事業	事業番号	1469		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	25	連番

R5年度(4月記入)

Goal(目標)	独居の高齢者が安全・安心に暮らせるようにする。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が在宅で安心して暮らせるよう住宅改修費の一部を助成する。

R5年度(3月末に実績見込を記入)

Do(実行)	R5実績額				0円	
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	高齢者等居住環境整備助成事業補助金	件	2	1	0	50%
②						
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が必要な対象世帯等への事業の説明、助言指導を行い、改修後現地を確認後、償還払いを実施する。 					

R5年度(3月末に記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・数件ではあるが、補助金の利用もあり、在宅生活には必要な補助事業となっている。 					

R5年度(3月末に記入)

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由: 高齢者にとっては必要な事業であり、細やかに対応している				

R5年度(3月末に記入)

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にとっては申請や実績報告の提出が非常に難しくなっているので、簡素化を図るなどの検討が必要

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	高齢者や一人暮らし家庭などの安全安心につながる見守り事業の推進	所属	福祉課	SDGs	3
事業(細目)名	支え愛体制づくり事業	事業番号	1991		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	25	連番

R5年度(4月記入)

Goal(目標)	独居の高齢者が安全・安心に暮らせるようにする。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> 各集落で支え愛マップを作成し、有事の際の高齢者等の安全を確保する。

R5年度(3月末に実績見込を記入)

Do(実行)		R5実績額	150,000円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	支え愛マップ作成集落(補助事業対象)	集落	0	3	1	#DIV/0!
②	支え愛マップ作成集落(合計)	集落	62	65	63	105%
③						
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 必要な集落等への事業の説明等 作成に要する経費を町社協に対して補助する。 					

R5年度(3月末に記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 新規で作成した集落もあり、地域の支援体制づくりのために必要な補助事業となっている。 当初の作成から年数が経過した集落への見直しの呼びかけを行っているが、作成にあたっての支援の要望がある。 					

R5年度(3月末に記入)

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由: 地域の支え合い体制づくりに必要な事業である。				

R5年度(3月末に記入)

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	<ul style="list-style-type: none"> 未作成集落への呼びかけを継続的に行っているが、前向きでない集落もある。引き続き、啓発が必要。 新規作成だけでなく、見直し等の呼びかけも継続的に行う。 マップの見直しを行う集落を補助対象に加える。(制度の拡充を行う。)

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	自死対策事業	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	自死対策事業	事業番号	1913		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	連番	II-1

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	誰もが自死に追い込まれることなく健康で生きがいをもって暮らすことができる。
Plan(事業概要・計画)	自死対策計画に基づいて事業運営を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・自死対策を支える人材の養成 ・町民への啓発と周知 ・相談体制の整備と関係機関との連携強化

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)		R5実績額	89,271円			
	活動実績を示す指標	単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	自死者数	人	0	0	2	#DIV/0!
②	人材育成者数	人	108	40	45	37%
③	普及啓発物配布数	個	600	600	600	100%
実施内容	・自死者数 2 人 ・人材育成者数 45人 ・普及啓発物 600個作成、600個配布 ・9月自殺予防週間に普及啓発活動の実施 （告知端末放送、広報・ホームページ掲載、ほのぼの内掲示等） ・中学生を対象に「児童・生徒のSOSの出し方に関する教育」実施					

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・ゲートキーパーを増やすため、令和5年度は智頭町社会福祉協議会職員を対象に養成講座を行った。 ・若者の自死予防は全国的にも課題である。町内小・中・高等学校児童・生徒に対し、夏休み明けに啓発用のリーフレットを作成・配布。 ・智頭中学校3年生36名を対象に、児童・生徒のSOSの出し方に関する教育を実施した。					

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価		評価理由：自死予防の周知啓発が必要であり、事業の継続が必要。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	
	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
	・関係機関と連携しながら、ゲートキーパー等の人材育成を継続する。・住民に対する相談先の周知を強化する。 ・若者の自死予防対策の一環として、町内小・中・高等学校関係者との連携を強化し、普及啓発活動を発展させる。 ・智頭町自死対策計画の中間評価を行う。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	健康ポイント事業	所属	福祉課	SDGs		
事業(細目)名	健康ポイント事業	事業番号	2023			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	連番	II-2	

R5年度(4月記入)

Goal(目標)	健康ポイント事業を通して健康への意識を高め、元気で長生きできるまちづくり
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキンググループへの登録通知(4月) ・広報で住民に周知(4月)

R5年度(3月末に実績を記入)

Do(実行)		R5実績額	274,800円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	ポイント引き換え者数	人	170	180	208	106%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキンググループへの登録通知(4月) ・広報で住民に周知(4月) ・20ポイント達成者には杉小判1,000円と引き換え <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング実施者にウォーキングポイントを付与 ・達成者の中から抽選で5名に杉小判5,000円プレゼント 					

R5年度(3月末に記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>個人でのウォーキング実施が定着し、新規参加者が増加。</p> <p>個人でのウォーキング実施に対するポイントの付与制度をより周知して頂く為に、さらなる広報活動が必要。</p>					

R5年度(11月末に記入)

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由: 対象者拡大等により、登録者が増加している。				

R5年度(11月末に記入)

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
<p>老人クラブ等のイベントに対するポイント付与について、名簿が届かないと窓口でポイントを付与することができないため、利用者の負担を軽減する対応が必要である。</p> <p>年々利用者が増加傾向にあるため、現在のポイントが付与できる取り組みの拡大を図る。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	ぜん息児等機能回復支援事業	所属	福祉課	SDGs	3
事業（細目）名	ぜん息児等機能回復支援事業	事業番号	1419		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	連番	II-3

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	温水プールを利用することにより身体の機能回復を促進し、健康で明るい生活を送る
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・申請者への助成券の発行 ・広報で住民に周知（4月号）

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)	R5実績額	396,460円				
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	利用者数	人	65	167	95	257%
②						#DIV/0!
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・申請者への助成券の発行 ・広報で住民に周知（4月号） 					

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p>令和4年7月19日から温水プールの利用が不可となり、利用人数が減少した。 しかし、令和5年8月17日から利用を開始したため、利用率が向上、8月以降は利用率が安定している。</p>					

R5年度（11月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：啓発の機会が減少している。				

R5年度（11月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
	プールの利用不可もあり利用者人数の減少が見られるため、広報等の周知を強化を行っていく。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	歯科保健事業	所属	福祉課	SDG s	3,11
事業（細目）名	歯科保健事業	事業番号	1110		
総合計画	基本理念	Ⅱ 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	連番	Ⅱ-4

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	口腔の健康の保持・増進、歯科口腔保健に関する健康格差の縮小
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児を対象とした歯科健康教育の実施 ・ 成人、高齢者を対象とした歯科検診の実施 ・ 乳幼児歯科健診要指導、要治療者への受診勧奨、フォロー

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)	R5実績額	137,015円				
活動実績を示す指標	単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)	
① 歯科健康教育の実施	回	12	12	9	100%	
② 歯周疾患検診の実施	人	49	50	61	102%	
③ 後期高齢者歯科検診の実施	人	3	5	16	167%	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳歯の虫歯は永久歯にも影響するため、保育園で幼児を対象に健康教育を実施し、保護者への啓発も行う。 ・ 広報紙、告知端末等で住民へ周知し、歯周疾患検診（40.50.60.70歳の節目検診）及び後期高齢者歯科健診の受診者の増加を図る。 ・ 歯周疾患検診については10月に未受診者勧奨、後期高齢者歯科検診については通いの場等で呼びかけを行い受診者の増加を図った。 					
Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園で幼児を対象に歯科健康教育を毎月1回行い、保護者への啓発を実施（延べ234名）。 ・ 歯周疾患検診及び後期高齢者の歯科健診について広報紙、告知端末等周知を行い、歯周疾患受診者数が増加。（歯周疾患検診受診者61名、後期高齢者歯科健診受診者16名） ・ 10月末に歯周疾患検診の未受診者勧奨通知を行った。 					

R5年度（3月末に記入）

評価	B
----	---

方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
----	----	------	----	----

担当課長評価

評価	B
----	---

評価理由：対象者、ライフステージ等に併せた事業展開を行えた。

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	<p style="text-align: center;">R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯周疾患検診の受診率は20%に満たない現状であるため、未受診者勧奨等を行い受診者を増やす取り組みが必要。後期高齢者の歯科健診についても受診者を増やすための周知方法等を見直す必要がある。 ・ 国民皆歯科検診の実施に向け、節目歯周疾患検診の対象に20、30代の若い世代も加える。
-------------------	---

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	任意予防接種事業	所属	福祉課	SDGs	3
事業（細目）名	任意予防接種	事業番号	1093		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	連番	II-5

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	感染症の予防
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・小児インフルエンザは対象者（1歳～12歳）に個別通知（9月）。 ・流行性耳下腺炎の助成は乳児健診の際に周知（毎月）。

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)		R5実績額	452,000円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	小児インフルエンザ接種人数	人	368	400	140	109%
②	助成申請した者の流行性耳下腺炎接種者数	人	8	13	11	163%
③						#DIV/0!
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小児インフルエンザは9月末ごろに個別通知。令和5年の接種者数は140人。 ・流行性耳下腺炎の助成は乳児健診の際に周知。令和5年の接種者数は11人。 					

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・助成額の増額により、任意予防接種を経済的に接種しやすくするための体制を整えている。 ・告知端末や広報を用いて周知を図るとともに、事業の普及を図っている。 					

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 一部の接種実績が減少している部分がある。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、任意予防接種を経済的に接種しやすくするための体制を維持するため、同様の助成額を維持する。 ・引き続き、接種を希望する対象者が、接種機会の逸することがないように事業の周知を図る。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	障がい者歯科診療所運営支援事業	所属	福祉課	SDG s		
事業（細目）名	障害者福祉費	事業番号	1385			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	健康	事業番号	連番	II-6	

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	障がい者の口腔健康の維持・向上を図る
Plan(事業概要・計画)	障がい者に対して歯科診療、歯科保健指導等を行う障がい者歯科診療所の運営に要する経費の一部を、鳥取県東部圏域の1市4町共同で補助することにより、障がい者の口腔健康の維持・向上を図り、障がい者福祉の増進に資することを目的とする。

R5年度（3月末に記入）

Do(実行)		R5実績額	6,000円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	歯科診療	日	45	47	47	104%
②	保健指導	日	39	37	37	95%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・毎週木曜日午後に鳥取県口腔総合保健センターにて歯科医師会所属の医師が診療を行う。 ・毎週火曜日午後に鳥取県口腔総合保健センターにて歯科医師会所属の医師が保健指導を行う。 ・令和5年度の智頭町からの利用は0名。 				

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<p>当事業で実施している診療を東部圏域外の市町村からも利用している者がおり、その分の実績を各市町村が按分して追加負担している状況であり、費用が適正とは言いがたい点がある。</p>				

R5年度（3月末に記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：利用者の増加を図るため、啓発を継続する必要がある。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
各市町村の負担の公平性を保つため、過年度中に、取りまとめを行う鳥取市より利用者がある東部圏域外の市町村へも費用負担をしてもらうよう依頼を行ったが合意には至らなかった。今後も利用状況を確認し、継続して利用があれば、再度負担を求める事を他市町と協議し検討する。対象者への周知徹底を行うため広報活動に努める。	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	安全・安心な町民バスの運行、更新	所属	企画課	SDG s	11	
事業（細目）名	共助交通運行事業	事業番号	1634			
総合計画	基本理念	安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	環境整備	事業番号	15	連番	61→II-7

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	新たな交通体系である共助交通の、安心・安全な公共交通サービスを提供する。
Plan(事業概要・計画)	<p>○AI乗合タクシー「のりりん」の本格稼働並びに安定的な輸送の実現、電話予約受付体制の整備</p> <p>○共助交通の認知度・利用拡大に向けた周知。（IP告知端末での予約推進、商工会との連携による利用促進サービスの検討）</p> <p>○県の補助制度等を活用した共助交通の運営、安定的な運行サービスを維持するための住民ドライバーの確保。</p> <p>○住民ニーズに対応したシステムの改修、サービスの拡充・見直し。ドライバー教育等の随時実施による安心安全な交通サービスの提供。</p>

R5年度（年度末に実績見込を記入）

Do(実行)		R5実績額	67,460,291円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	AI乗合タクシー利用者数（乗車人数）	人	741	31,680	28,276	3816%
②	AI乗合タクシー運行収入	円	0	12,672,000	6,775,852	#DIV/0!
③	システム改修・サービス拡充に向けた関係者協議	回	9	12	11	122%
実施内容		<p>○AI乗合タクシー「のりりん」の本格稼働</p> <p>○既存サービスの拡充・利便性向上を踏まえたシステム改修の協議・検討の実施（KCME・ドコモ・日野自動車）</p> <p>○安定的・持続可能な運行体制を整備するためのドライバー確保（ドライバーの運行に係る負担軽減等を踏まえた補助制度の創設）</p> <p>○専用のオペレーションセンターの整備並びに共助交通推進員（オペレーティング業務）の確保</p>				

R5年度（年度末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<p>○安定的な運行に向けた体制整備として、補助制度を創設することによりドライバー確保ができてきている状況。ただし、運行シフトについてはドライバー都合に大きく左右されるため、継続してドライバー確保に努める必要がある。また、安定的並びに安全な運行を実施するため、随時交通法規の遵守・ドライバーの教育・指導が必須である。（安定的な運行を実施するため、ログデータを分析し、今後の配車体制等を検討する必要あり。）</p> <p>○観光二次交通対策、町外向けの周知啓発活動など、利用者の利便性向上に向けた取り組みは今後も継続して検討・改善していかねばならない。</p>				

R5年度（年度末に記入）

評価	A									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">方針</td> <td style="width: 15%;">拡大</td> <td style="width: 15%;">現状維持</td> <td style="width: 15%;">抑制</td> <td style="width: 15%;">廃止</td> </tr> </table>						方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
方針	拡大	現状維持	抑制	廃止						
担当課長評価										
評価	A	評価理由： 人口減少が続く中で新たな取り組み。まだまだ利用者は増えていくことが予想され、継続してドライバーの確保に努める。あわせてデータ分析による効率的な運行を実現させる必要がある。								

R5年度（年度末に記入）

Action(改善)	
	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<p>○共助交通の認知度・利用拡大に向けた周知。（IP告知端末での予約推進、商工会との連携による利用促進サービスの検討）</p> <p>○各種補助制度等を活用した共助交通の運営、安定的な運行サービスを維持するための住民ドライバーの確保並びに住民ニーズに対応したシステムの改修、サービスの拡充。（スマートフォンでの登録・検索・予約・決済機能、ログデータ分析による最適な配車体制整備等）</p> <p>○ドライバー教育等の随時実施による安心安全な交通サービスの提供。（適性検査の実施等）</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート【R5年度実績検証用】

事業名	行政手続きのスマート化	所属	総務課	SDG s	11
事業（細目）名	行政情報システム推進費	事業番号	1517		
総合計画	基本理念	II 安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	② 環境整備	事業番号	新規	連番 II-8

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	テレワーク環境整備及び行政手続きのスマート化
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務系システムのネットワークをLGWAN系に配置するαモデル化の実施 ・新たなテレワーク環境整備検討 ・電子申請システムの有効活用

R5年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R5実績額				0	
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	αモデル化移行進捗率	%	75	100	100	133%
②	テレワーク環境構築率	%	75	100	100	133%
③	電子申請システム登録件数	件	11	15	11	100%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・αモデル化の環境構築が完了した。（繰越事業） ・職員のテレワーク環境構築が完了した。（繰越事業） 				

R5年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・αモデル環境移行に伴いセキュリティが強化されたが、インターネット系へのアクセス制限や外部メディアの接続禁止が事務効率化の支障となっている。 ・職員に対する電子申請システムの普及方法を検討する必要がある。（研修会の開催等） 				

R5年度（年度末評価を記入）

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：環境構築は完了したが、電子申請システムの件数増加なしのため。				

R5年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・電子申請システムの職員への活用周知、電子申請に対応するための事務フロー、様式の見直し ・セキュリティを確保しながら業務効率化が可能となるようセキュリティポリシーの見直しを実施 ・テレワーク実施のための体制整備 	

第7次総合計画進行管理検証シート【R5年度実績検証用】

事業名	町有財産の適正な管理	所属	総務課	SDG s	11
事業（細目）名	財産管理費	事業番号	1007		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	連番	II-9

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	町有財産の適正な管理と、PFI導入検討による民間活力の活用を検討
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ FM委員会、PFI検討委員会の開催 ・ 個別施設計画の策定と公表 ・ 固定資産台帳の整理

R5年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R5実績額	0円
活動実績を示す指標		対前年比(%)
①	固定資産台帳に係る研修会	100%
②	PFI検討数	0%
③		
実施内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・ PFI検討委員会開催 ・ 固定資産台帳システム研修会 ・ 固定資産台帳の整理 		

R5年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 固定資産台帳システムに関する研修会を実施。各課での入力を促進した。 ・ PFI検討委員会を開催。オンライン研修会で先進事例について学んだ。 						

R5年度（年度末評価を記入）

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	C	評価理由：研修は実施できたものの、担当者による台帳入力が進捗できなかったため。				

R5年度（年度末改善方針を記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<p>固定資産台帳システムについて研修会を実施。</p> <p>職員利用端末がLG系にかわり、自席で直接システム利用が可能となったので利用促進を行う。</p> <p>PFIについては、先進事例等の情報収集は行えたが、町有物件での実施検討までは行えていない。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	公共料金のコンビニ納付事業	所属	税務住民課	SDG s		
事業（細目）名	公共料金のコンビニ納付事業	事業番号	1028・1031			
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり				
	視点	環境整備	事業番号	連番	II-10	

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	公共料金のコンビニ納付
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共料金のコンビニ納付の実施

R5年度（年度末実績を記入）

Do(実行)					R5実績	849,452円																												
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)																												
①	公共料金のコンビニ納付	円	-	随時	下記	#VALUE!																												
②						#DIV/0!																												
③						#DIV/0!																												
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共料金のコンビニ納付の実施 <table style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">R5</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">実績</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">上水道</td> <td style="text-align: right;">533件</td> <td style="text-align: right;">1,798,300円</td> <td style="text-align: center;">4税</td> <td style="text-align: right;">3,235件</td> <td style="text-align: right;">46,522,449円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">公共下水</td> <td style="text-align: right;">508件</td> <td style="text-align: right;">2,394,030円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">農集排</td> <td style="text-align: right;">197件</td> <td style="text-align: right;">816,200円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							R5	実績					上水道	533件	1,798,300円	4税	3,235件	46,522,449円		公共下水	508件	2,394,030円					農集排	197件	816,200円				
	R5	実績																																
上水道	533件	1,798,300円	4税	3,235件	46,522,449円																													
公共下水	508件	2,394,030円																																
農集排	197件	816,200円																																

R5年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適應しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	<p style="text-align: center;">口座振替契約をしていない者のコンビニ納付により、現年度徴収率の向上が見込める。</p>					

R5年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由：納付の利便性が高まり、収納率の向上に貢献				

R5年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)	
R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画	
<p>利用拡大を図るため、周知を拡げる。</p>	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	各種証明書のコンビニ交付事業	所属	税務住民課	SDG s	
事業（細目）名	各種証明書のコンビニ交付事業	事業番号	1028・1031		
総合計画	基本理念	Ⅱ 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	連番	Ⅱ-11

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	各種証明書のコンビニ交付事業
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> 各種証明書のコンビニ交付事業

R5年度（年度末実績を記入）

Do(実行)	R5実績			2,142,963円	
活動実績を示す指標	単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
① 各種証明書のコンビニ交付	件	-	随時	下記	#VALUE!
②					#DIV/0!
③					#DIV/0!
実施内容	R5 実績				
各種証明書のコンビニ交付の実施	住民票	297通	74,250円		
	印鑑証明	244通	61,000円		
	税証明	36通	9,000円		

R5年度（年度末実績時のチェックを記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	R3年開始以降順調に件数増えている。今後も住民周知を図り、利用拡大に繋げたい。					

R5年度（年度末評価を記入）

評価	A	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	A	評価理由： 閉庁時等でも証明取得が可能。				

R5年度（年度末改善方針記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
	利用拡大を図るため、今後も住民周知を拡げる。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康づくりのための生涯スポーツに取り組める環境整備	所属	教育課	SDGs	3
事業(細目)名	体育振興費	事業番号	1212		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	連番	II-12

R5年度

Goal(目標)	各団体と地域・学校が連携して各種体育事業を展開することで町民の健康づくり、スポーツ活動の充実を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会を通じた各種体育大会等の開催委託及び体育協会の活動支援によるスポーツ活動の充実を図る。 ・ 総合型地域スポーツクラブ(スポねっとちづ)の活動支援による町民のスポーツ環境の充実を図る。 ・ 町スキー祭を開催し、本町の子どもレベルアップを図る。

R5年度

Do(実行)	R5実績見込額	6,402,585円				
活動実績を示す指標		単位	R4(実績)	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	体育協会理事会	件	3	3	3	100%
②	総合型地域スポーツクラブ(スポねっとちづ) 運営委員会	件	5	5	5	100%
③	町民スキー祭	人	38	40	40	105%
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育協会委託事業各種体育大会 ・ 町スキー祭 ・ 各種スポーツ団体の活動支援を実施。 				

R5年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題						

R5年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： スポねっとちづの活動支援により、会員の体力・技能向上につながっている				

R5年度

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ 町民スポーツ大会を実施するにあたり、より多くの世代から参加できるように安心・安全に実施できることを考え、協議内容の見直しを行う。 ・ 各団体と地域・学校が連携して体育事業を展開することで町民の健康づくり、スポーツ活動の充実、コミュニティーの形成を図る。 ・ 各種スポーツ団体の活動支援を継続して行い、体育振興を促進する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	町民の健康づくりのための生涯スポーツに取り組める環境整備	所属	教育課	SDGs	3
事業(細目)名	体育施設管理費	事業番号	1217		
総合計画	基本理念	II 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	連番	II-12

R5年度(4月記入)

Goal(目標)	適宜、必要な修繕・改修を行い、施設の機能維持及び長寿命化を図る。
Plan(事業概要・計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設の緊急性の高い部分を修繕し、施設の機能維持及び長寿命化を図る。 ・社会体育施設の整備、環境の充実に努め、利用促進を図る。 ・経年劣化の進んだ社会体育設備品の更新を行う。

R5年度

Do(実行)	R5実績額	77,280,275円				
活動実績を示す指標		単位	R4(実績)	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	維持管理をする体育施設	施設	4	4	4	100%
②	修繕による適正な施設運営	施設	2	2	2	100%
③						#DIV/0!
実施内容		<ul style="list-style-type: none"> ・智頭温水プール空調修繕工事および外壁修繕工事を実施することにより安心・安全な施設管理の維持を図った。 ・週に1回程度の施設巡回を行い環境整備を実施。 ・温水プールの経年劣化による備品の更新を実施。 				

R5年度

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ団体及び町民の施設の利便性向上のため、適正な修繕及び維持管理を行った。 				

R5年度

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由：体育施設のメンテナンスを行いつつ、施設・整備等を有効に活用している。				

R5年度

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
<ul style="list-style-type: none"> ・町民スポーツ大会を実施するにあたり、より多くの世代から参加できるように安心・安全に実施できることを考え、協議内容の見直しを行う。 ・各団体と地域・学校が連携して体育事業を展開することで町民の健康づくり、スポーツ活動の充実、コミュニティーの形成を図る。 ・各種スポーツ団体の活動支援を継続して行い、体育振興を促進する。 	

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	高齢者の生きがいと健康づくり事業	所属	福祉課	SDG s	9
事業(細目)名	在宅福祉対策事業費	事業番号	1068		
総合計画	基本理念	Ⅱ 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	環境整備	事業番号	25	連番 Ⅱ-13

R5年度(4月記入)

Goal(目標)	高齢者ができる限り自立し、生きがいを持ち、安心して暮らせる社会づくりの推進
Plan(事業概要・計画)	・智頭町在住の高齢者に対する生きがいと健康づくり、支え合いに関する事業を、智頭町社会福祉協議会に委託して実施

R5年度(3月末に実績見込を記入)

Do(実行)	R5実績額				1,492,286円	
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	健康活動	回	15	17	16	113%
②	学習リーダー研修	回	12	13	13	108%
③						#DIV/0!
実施内容	健康活動として、健康増進大会(年二回のウォーキング大会)・老人スポーツ大会・東部地区高齢者健康運動会・グランドゴルフ大会・健康教室・男の料理教室を開催。学習リーダー研修として、リーダー研修会・県研修会への参加、老人福祉大会・交通安全教室・同和研修を開催。					

R5年度(3月末に記入)

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適合しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象(者・モノ)、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方(手段、内容、負担)は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題	・新型コロナウイルス感染症感染防止対策等により、例年通りの事業が行えていない。 ・会員数の減少が進んでおり、新規会員の加入を推進する必要がある。					

R5年度(3月末に記入)

評価	B	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価	B	評価理由：高齢者の生きがいと健康づくりを増進し活動の場を作るため活動推進している				

R5年度(3月末に記入)

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
	・老人クラブ会員が年々減少しており、引き続き、新規会員の加入を推進していきたい。 ・新型コロナウイルス感染症の予防対策により、実施できる事業は工夫を凝らして実施し、今後も感染症対策を行いながら、できる限り事業を実施していく。

第7次総合計画進行管理検証シート

事業名	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業	所属	福祉課	SDGs	3,11
事業（細目）名	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業	事業番号	2111		
総合計画	基本理念	Ⅱ 安全安心に暮らせる健康長寿のまちづくり			
	視点	健康	事業番号	連番	Ⅱ-14

R5年度（4月記入）

Goal(目標)	住み慣れた地域で健康に暮らせる高齢者を増やし、医療費・介護給付費の抑制を図る。
Plan(事業概要・計画)	企画調整担当の医療専門職（保健師）を配置し、各日常生活圏域で、75歳以上の高齢者に対する保健事業と介護予防事業等を一体的に事業運営する。 ・高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ） ・通いの場等への関与による高齢者全体の健康度の底上げ（ポピュレーションアプローチ）

R5年度（3月末に実績を記入）

Do(実行)		R5実績額	8,621,357円			
活動実績を示す指標		単位	R4	R5(計画)	R5(実績)	対前年比(%)
①	健康状態不明者への保健指導	人(実人数)	/	21	16	#DIV/0!
②	生活習慣病重症化予防対象者への保健指導	人(実人数)	/	80	74	#DIV/0!
③	通いの場での健康教育とフレイル状態の把握	団体数(実)	/	6	6	#DIV/0!
実施内容		①令和4年度後期高齢者健診未受診者かつ生活習慣病治療目的で医療機関を定期受診していない者への保健指導 ②糖尿病・高血圧症の治療中断者及び令和5年度後期高齢者健診で血圧・血糖値またはHbA1cが一定値以上の者への保健指導 ③百歳体操を実施している団体に介入し、低栄養予防・口腔機能向上の健康教育と後期高齢者の質問票を実施				

R5年度（3月末に記入）

Check(確認)						
評価項目	評価内容	100%	75%	50%	25%	0%
妥当性	社会情勢から見て、行政で実施すべきか	A	B	C	D	E
	住民ニーズや総合計画に適切しているか	A	B	C	D	E
	事業の対象（者・モノ）、費用等の規模は適正か	A	B	C	D	E
有効性	期待した効果は得られているか	A	B	C	D	E
	事務事業の目標は達成できているか	A	B	C	D	E
	総合計画の目的達成に貢献しているか	A	B	C	D	E
効率性	効率性を考えたとき、実施方法は適切か	A	B	C	D	E
	事務事業の中で、統廃合や縮小できないか	A	B	C	D	E
	事業の進め方（手段、内容、負担）は適正か	A	B	C	D	E
成果・課題		①健康状態不明者への訪問では、福祉や介護部門と連携が必要なケースの掘り起こしにつながった。一部は必要な支援を導入できた。 ②治療中断者には中断理由に応じた支援を行い、時間はかかったが再受診につながられたケースが多かった。 健診結果に基づいて訪問したケースは、健康意識が高く、ハイリスクとは言えない対象者も多かった。 ③各団体に6回ずつ介入し、手厚く健康教育等はできたが、介入できる人数に限界があった。				

R5年度（3月末に記入）

評価	C	方針	拡大	現状維持	抑制	廃止
担当課長評価						
評価	B	評価理由： 目標に沿った事業内容だが、効率性や方法、マンパワーについてさらに工夫が必要。				

R5年度（3月末に記入）

Action(改善)	R5実施内容の改善及び見直しの上、R6の方針・計画
・健康状態不明者対策は令和6年度も継続実施し、関係部署と連携して必要な支援の導入につなげる。 ・生活習慣病の重症化予防については、よりハイリスクな対象者に効果的に支援を行えるよう、医療機関を定期的に受診していない者に対象を絞り、手厚く関わる。 ・ポピュレーションアプローチは、1団体当たりの介入回数を減らし、介入する団体数を増やして、より多くの高齢者に関わる機会を確保する。	